



大船渡水産振興センター「復興板」

平成30年2月1日発行 第61号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成29年12月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、70.3%となっています。(平成29年12月31日現在)

	災害査定 (H28再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁 港	243	35,125,599	238	32,434,726	31,935,038	91	222
漁港海岸	11	35,443,968	11	23,348,632	17,508,100	49	3
漁 場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合 計	256	71,068,447	251	56,282,238	49,942,018	70	227

・ さっちゃんNEWS part 1



1月4日大船渡市魚市場において平成30年の初売り手締め式が行われました。

はじめに戸田公明大船渡市長から基幹産業である水産業の漁況回復に期待を込められた挨拶がありました。それに続いて、大船渡魚市場株式会社千葉隆美代表取締役の音頭による三本締めで、参加した魚市場職員、買受人、大船渡市など多くの市場関係者の皆さんが、この1年の豊漁を祈念しました。



★★★スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成29年度	作業保管施設	綾里漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成29年1月から12月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成29年 (震災後)		平成28年 (震災後)		平成20年から平成22年の平均 (震災前)		前年比 (H29/H28)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
31,044	6,145,745	34,053	5,163,502	57,890	6,561,267	91.2	119.0	53.6	93.7

12月は主に、さば(1,297t、190,222千円)、まいわし(1,039t、67,080千円)、さんま(876t、73,399千円)、さけ(108t、104,210千円)などが水揚げされています。

・ さっちゃんNEWS part2

1月29日(月)大船渡合同庁舎において『イサダ食用化等研究会』が開催されました。この研究会はイサダの利用促進を図るために、産学官が連携し一体となった取組を行うことを目的に平成19年に立ち上げています。今回は日本におけるイサダ研究の第一人者である、国立研究開発法人水産総合研究機関フェロー 小谷 祐一氏の基調講演やマーケティング調査の報告、関連情報提供などがあり、熱のこもった議論が交わされました。最後にイサダを使った試作品等の試食会が行われ閉会となりました。



大船渡市末崎中学校1年生がワカメ学習の一環として地元漁業者の協力を得て1月31日にワカメの間引き作業を体験しました。末崎中学校ではこの学習を平成13年度から継続しており、ワカメ養殖発祥の地である地元水産業の理解に役立っています。2月末には収穫作業が行われる予定になっています。



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター
[担当 佐藤]
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp